

## 浄化槽の正しい使い方は

浄化槽内は、公共下水道とちがって、限られた容器の中で、微生物が汚物を食べて汚水を浄化していますので、微生物が働きやすい環境をつくるため、次のことを必ず守ってください。



- 槽内には異物(新聞紙、タバコの吸いがら、ゴム類、綿など)を流さないでください。

- トイレトペーパーは、水にとけやすいもの(JIS規格に合格したもの等)を使用してください。  
多量に使いすぎますと短期間で汚でいが多くなり、清掃の時期を早めます。





- 便器の掃除には、水又はぬるま湯を使用してください。

- タイルの漂白剤、クレゾール、中性洗剤などを使用すると浄化槽内の微生物を死滅させるなど、浄化槽の機能を低下させる場合があります。



- 排気管、送気口（格子蓋）は、酸化の機能を保つために必要なものですから、絶対にふさがないようにしてください。

- 浄化槽のふたの上には、点検・清掃などの作業ができるように荷物などを置かないでください。





- モーターを使用している浄化槽は、電源を切らないで常時運転するようにしてください。

- ばっ気装置は、熱を持つことがありますので、カバーの上や、その周囲には、燃えやすい物を置かないでください。



- 浄化槽の放流水は、環境衛生上支障のないよう消毒することになっています。消毒薬は常に補充してください。

